

2022.6.5

聖霊降臨の主日

## 聖霊のはたらき

ヨハネによる福音 14:15-16、23b-26

「あなたがたは、わたしを愛しているならば、わたしの掟を守る。わたしは父にお願いしよう。父は別の弁護者を遣わして、永遠にあなたがたと一緒にいるようにしてくださる。わたしを愛する人は、わたしの言葉を守る。わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き、一緒に住む。わたしを愛さない者は、わたしの言葉を守らない。あなたがたが聞いている言葉はわたしのものではなく、わたしをお遣わしになった父のものである。わたしは、あなたがたといたときに、これらのことを話した。しかし、弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。」

### 説教

今日はイエスさまの復活の日から数えて50日目なのでペンテコステ（ギリシア語で50番目）ともよばれるキリスト教の祝日、聖霊降臨の主日です。

ところで、聖霊の役割とはいったいなんでしょう？

**弁護者、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊が、あなたがたにすべてのことを教え、わたしが話したことをことごとく思い起こさせてくださる。**

ヨハネ 14:26

ここでいっている「わたしの話したこと」とは福音です。聖霊とは福音を「ことごとく思い起こさせる」ことだ、とヨハネは聖霊の役割をズバリと言いつけています。

聖霊の役目が福音を思い出すことだとすると、律法はいったいどうなるので

しょう。聖霊は律法とは関係ないのでしょか。

イエスは山上の垂訓で律法は一点一画もすたれない（マタイ 5:17-18）律法を守れと擁護しています。しかし現実には律法派の祭司・学者との激しい攻撃によりイエスは破れました。福音攻撃派はイエスの真意を見抜いていたのでしょう。イエスは律法を守れ、かつ福音も守れとは言いませんでした。イエスははっきりと「互いに愛しあいなさい」それだけでいい、つまり福音だけでいいともいっています。今のことは遣いでいえばイエスは律法のバージョンアップ版として福音を示しています。古い律法は捨ててバージョンアップされた福音を信じろとを民衆に説きました。

**新しいぶどう酒を古い革袋に入れる者はいない。そんなことをすれば、革袋は破れ、ぶどう酒は流れ出て、革袋もだめになる。新しいぶどう酒は、新しい革袋に入れるものだ。そうすれば、両方とも長もちする。マタイ 9:17**

聖霊降臨は神から見ればこうなるかもしれません。

神はユダヤ人の状況を見て、このままではいかんといままでの律法順守の戦術を変えました。新しい戦術はみ子イエスを世に送りこみテコ入れをおこなうことです。どのようなテコ入れかというと、それは福音です。

十戒という形で掟・律法を人間に与えたが、人はうまくこの神の掟をつかいていない、それどころか混乱をまねいています。そこで十戒のバージョンアップ、つまり福音を与えました。でも人間は律法を自分たちの都合で変えたように、福音もまた都合よくネジまげてしまうかもしれない、福音も律法の二の舞になってしまうことを神は恐れました。そこで神は計画の仕上げとして聖霊を「福音」の守り手として世に送り込みます。

五旬祭（ごじゅんさい）はユダヤ教三大祭のひとつです。だからほうぼうに散らされたユダヤ人はみんな旅をして集まってくる。（使徒言行録 2:9 以下、第一朗読解説 9 参照）ペトロたちも同じように祭りに参加しています。イエスの福音宣教をするには人の集まる五旬祭は絶好の機会です。

その機会をのがさず神は聖霊を華々しく登場させます。

突如、天から大音響と共に炎のような舌が分かれて、ペトロたちイエスグループの上に襲い掛かる。するとみな人が変わったように、異国のことばで語りだす。第一朗読で読んだとおりです。作戦は成功しイエス福音の宣教は世界に広まりました。

「聖霊」は世界が始まる前から「父」「子（キリスト）」とともに存在した神です。ですから、キリストがイエスとして生れる前から存在してこの世と関わっていたように、聖霊も聖霊降臨日より昔からこの世と関わっていました。つまり、この日に初めて聖霊が降臨したわけではありません。しかしこの日の聖霊の降臨はとても重要なのです。というのは、旧約聖書全体をとおして「父」が預言していたことの実現として「子」キリストが（以前から存在していたけれどあらためて）クリスマスに世にあらわれたように、ヨハネ福音書 14 章 16-17 でキリストが予告していたことの実現として「聖霊」が（以前から存在していたけれどあらためて）聖霊降臨日に世にあらわれたからです。

イエスの誕生、イエスの復活、聖霊降臨（クリスマス、イースター、ペンテコステ）はキリスト教の3大祭です。

さいごに〈聖霊の続唱〉典礼聖歌 352 番の歌詞を紹介します。

聖霊来てください。

あなたの光の輝きで、わたしたちを照らしてください。

貧しい人の父、心の光、証しの力をぐ方。

やさしい心の友、さわやかな憩い、

ゆるぐことのないよりどころ。

苦しむ時の励まし、暑さの安らい、憂いの時の慰め。

恵み溢れる光、信じる者の心を満たす光よ。

あなたの助けがなければ、すべてははかなく消えてゆき、  
だれも清く生きてはいけない。

汚れたものを清め、すさみをうるおし、  
受けた痛手をいやす方。

固い心を和らげ、冷たさを温め、乱れた心を正す方。

あなたの言葉を信じて依り頼む者に、尊い力を授ける方。

あなたはわたしの支え、恵みの力で、救いの道を歩み続け、  
終わりなく喜ぶことができますように。アーメン

-----